



我孫子市 中学校部活動地域展開

生徒・保護者向け説明会

我孫子市教育委員会

令和8年3月



本日の内容

- 1.我孫子市の部活動地域展開について
- 2.管理・運営体制について
- 3.地域クラブ活動の概要
- 4.指導者について
- 5.大会、コンクール参加について
- 6.その他



1

我孫子市の部活動地域展開について

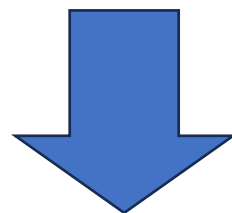




国の方針と我孫子市の目標

国の方針

スポーツ庁・文化庁ガイドラインに基づき、休日の部活動を段階的に地域へ移行。



我孫子市の目標

令和8年9月に、休日の部活動を「地域クラブ」へ完全移行。



なぜ、地域展開が必要なのか？

持続可能な未来

**少子化による
生徒数減少**

単独校での
チーム維持が困難

**教員の
働き方改革**

長時間労働の是正

**子供たちの
多様なニーズ**

新しい活動への対応

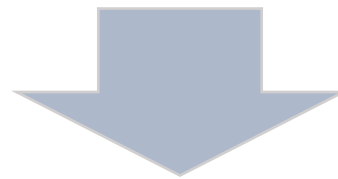




「部活動」として残すことはできない？

国

令和8年度～10年度までを改革実行期間として設定



部活動ができないため、新たな活動環境が必要となります。

市

地域展開に着手することが求められます



地域展開の経過



令和6年度
(実証)

1校・3部活
(卓球、陸上等)

令和7年度
(拡大)

6校・21部活
(全中学校に対象拡大)

令和8年度
(全面展開)

6校・90部活目標
9月より地域クラブ活動開始



「学校部活動」と「地域クラブ活動」の違い

 学校部活動	 地域クラブ活動
 活動日：平日、休日	 活動日：休日
 管理：学校	 管理：教育委員会・ スポーツ協会
 指導者：教員、 部活動指導員	 指導者：地域指導者 ※教員の兼職兼業含む

令和8年9月からは原則、**休日**の部活動は実施しません。

参考
学校（部活動）の現状

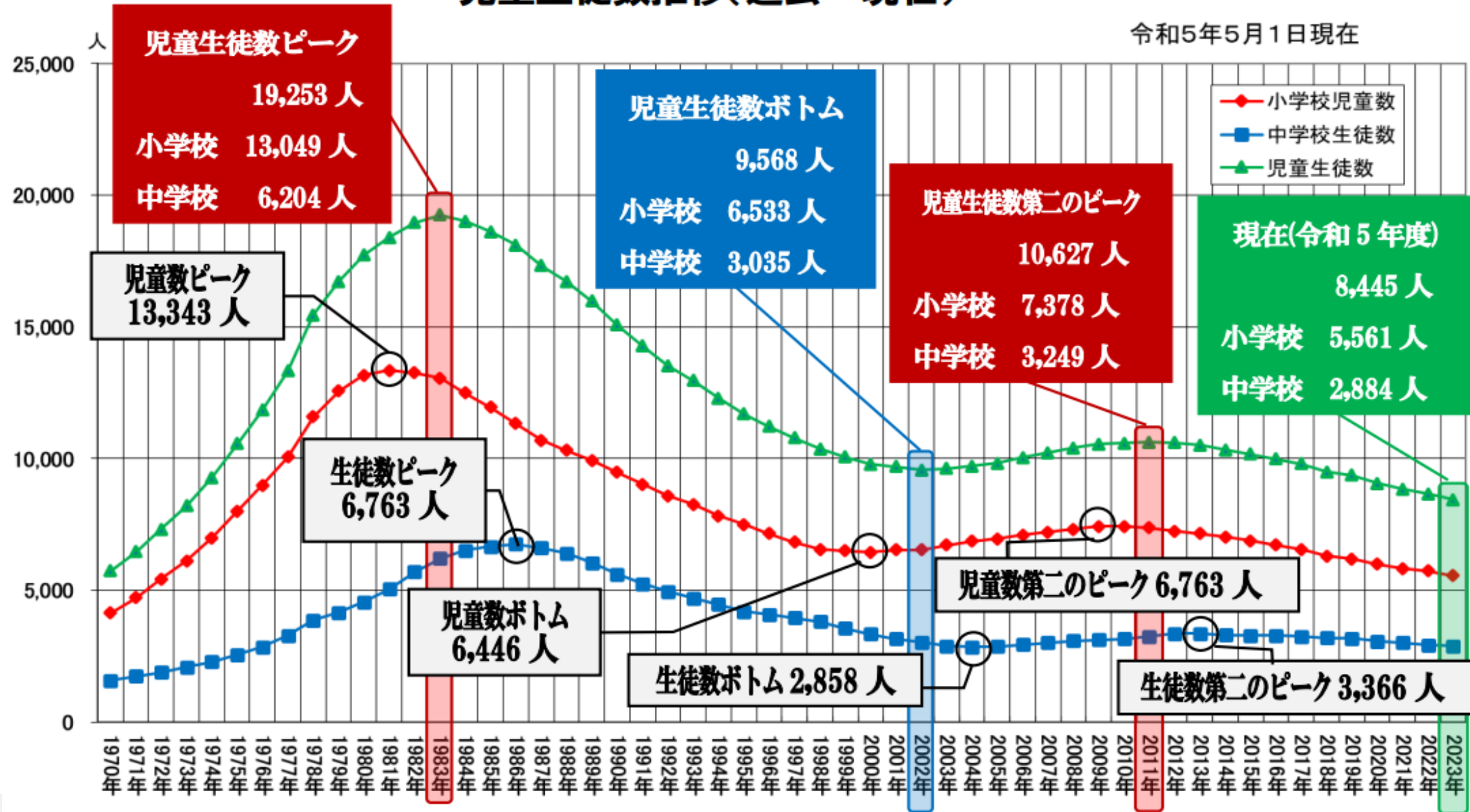


我孫子市の児童生徒数の推移 (我孫子市教育振興計画より)

図 1

児童生徒数推移(過去→現在)

令和5年5月1日現在



7年間で...

1378人

減少

中学生

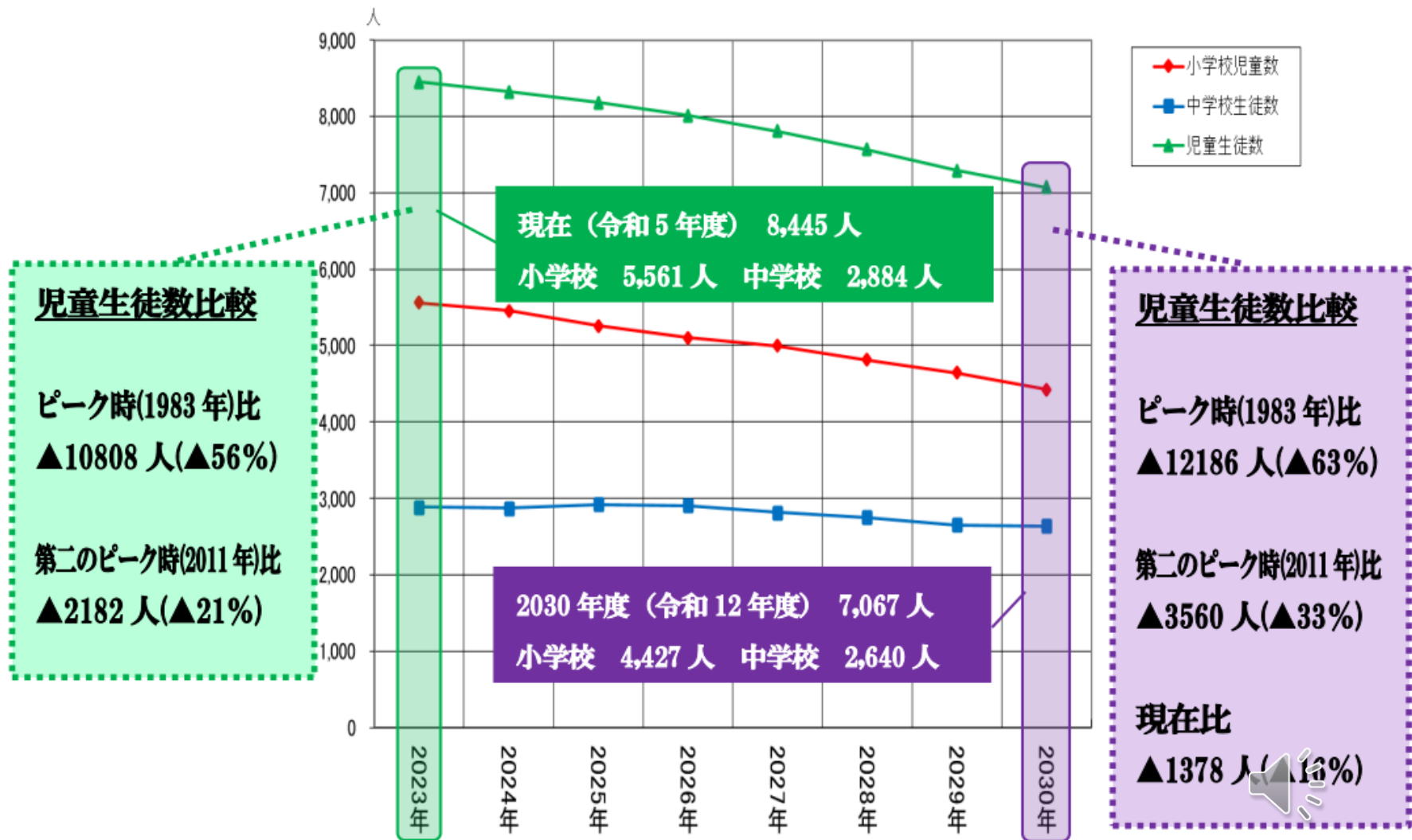
244人

減少

図2

学校

児童生徒数の将来推計



生徒数・部活動加入数（率）・部員不足（令和7年5月調査）

	白山中	久寺家中	我孫子中	湖北台中	湖北中	布佐中
生徒数(人)	617	481	822	268	390	175
加入率 (%)	83.0	86.7	86.6	84.7	77.7	83.4
部活動数 (部)	13	13	16	9	13	6
運動部						
文化部	3	2	6	4	2	2
部員不足 1, 2年生で 10人未満 (地域展開対象部活動のみ)	女子陸上 男女剣道 男女水泳 男女駅伝 合唱	女子陸上 女子テニス ソフトボール 男女剣道	男女柔道 男女剣道 男女水泳 女子駅伝 男女柔道 合唱	男女テニス 男子卓球 ソフトボール	女子陸上 女子テニス 女子卓球 サッカー ソフトボール 男子剣道 男子柔道	女子陸上 女子バスケット 女子バレー
令和8年度 新規募集停止 の部活動	/		柔道 水泳	男子テニス 男子バレー ソフトボール	女子テニス ソフトボール	/

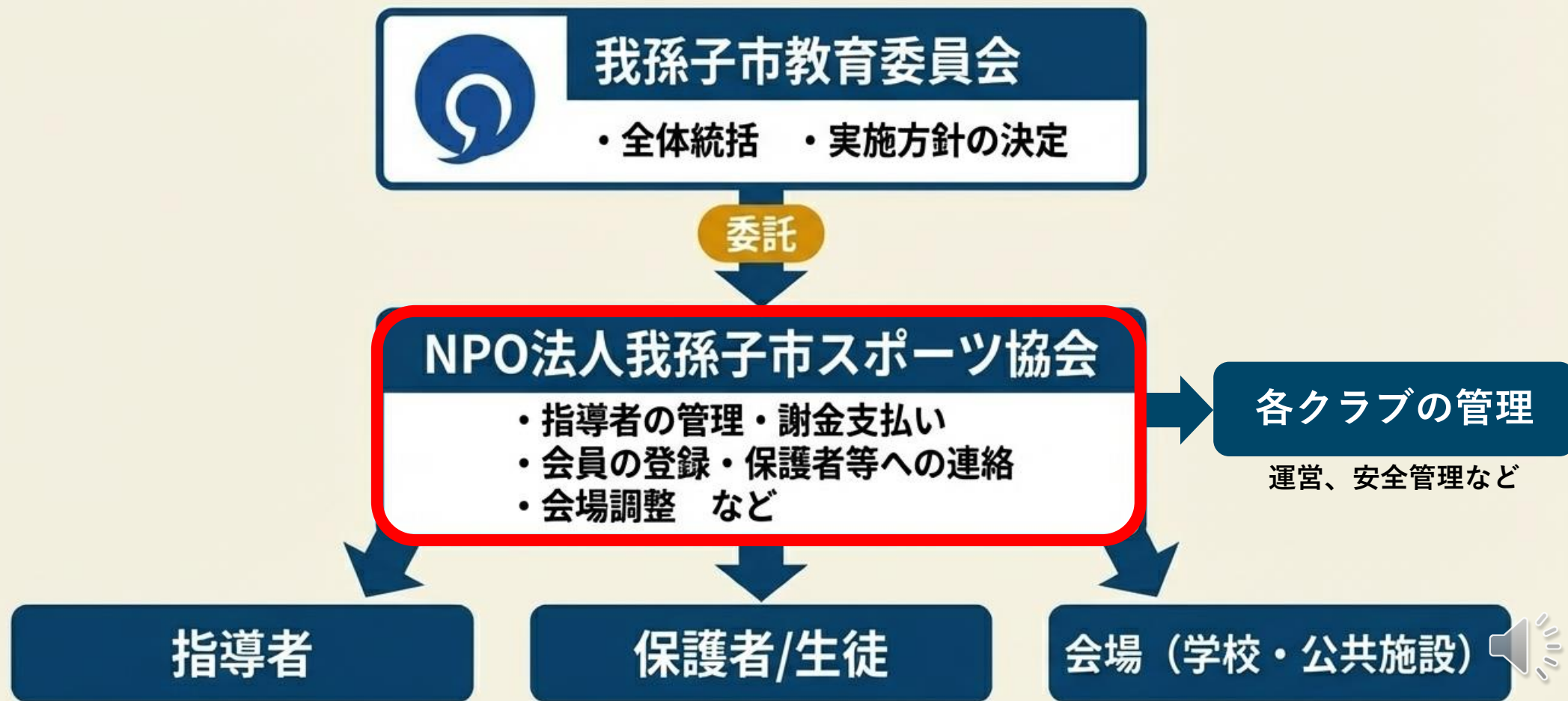


2

管理・運営体制について



管理・運営体制



3

地域クラブ活動の概要



活動頻度と時間（適正な活動量）



頻度: 月4回程度

原則24回以上～28回まで
(令和8年度7カ月間)



**時間: 1日3時間
(準備・片付け含む)**

部活動ガイドラインに準拠した活動となります。



展開種目一覧

水泳部を除き、休日に活動している全ての部活動が対象

スポーツ活動とスポーツ活動と文化活動をそれぞれ実施

Sports



陸上



野球



バスケット
ボール



ソフトテニス



卓球



サッカー



バレーボール



ソフトボール



剣道



柔道

Culture



合唱



吹奏楽



演劇

行政認定型クラブ



地域クラブの活動形態



行政**主導**型

現在の部活動をベースに市が設立した地域クラブ



行政**認定**型

既に地域で活動する民間クラブを市が認定した地域クラブ



活動場所と施設

1

優先順位①



学校施設

(グラウンド、体育館)



※教育委員会で割り振りを決定

※吹奏楽、合唱、卓球については、兼職兼業の教員がいる場合、校舎を使用することができます。



確保できない場合

2

優先順位②



公共・民間・大学施設

(テニスコート、体育館、グラウンド、ホールなど)



🚲 どうやって移動するの？（移動手段の想定）

移動手段は、主に以下の通りとなります。

【移動手段】



🏫 負担を減らすための工夫

生徒の負担に配慮し、
可能な限り【拠点のローテーション】を取り入れます！



みんなに公平な仕組み

特定の学校の生徒だけに負担が偏らないよう、できる限り複数の活動拠点を設けます。



参加費用と支援

月額
2,500円

年会費
6,000円
(半期3,000円)

保険料
年額1,000円

※登録料、個人負担すべきものは別途事項負担

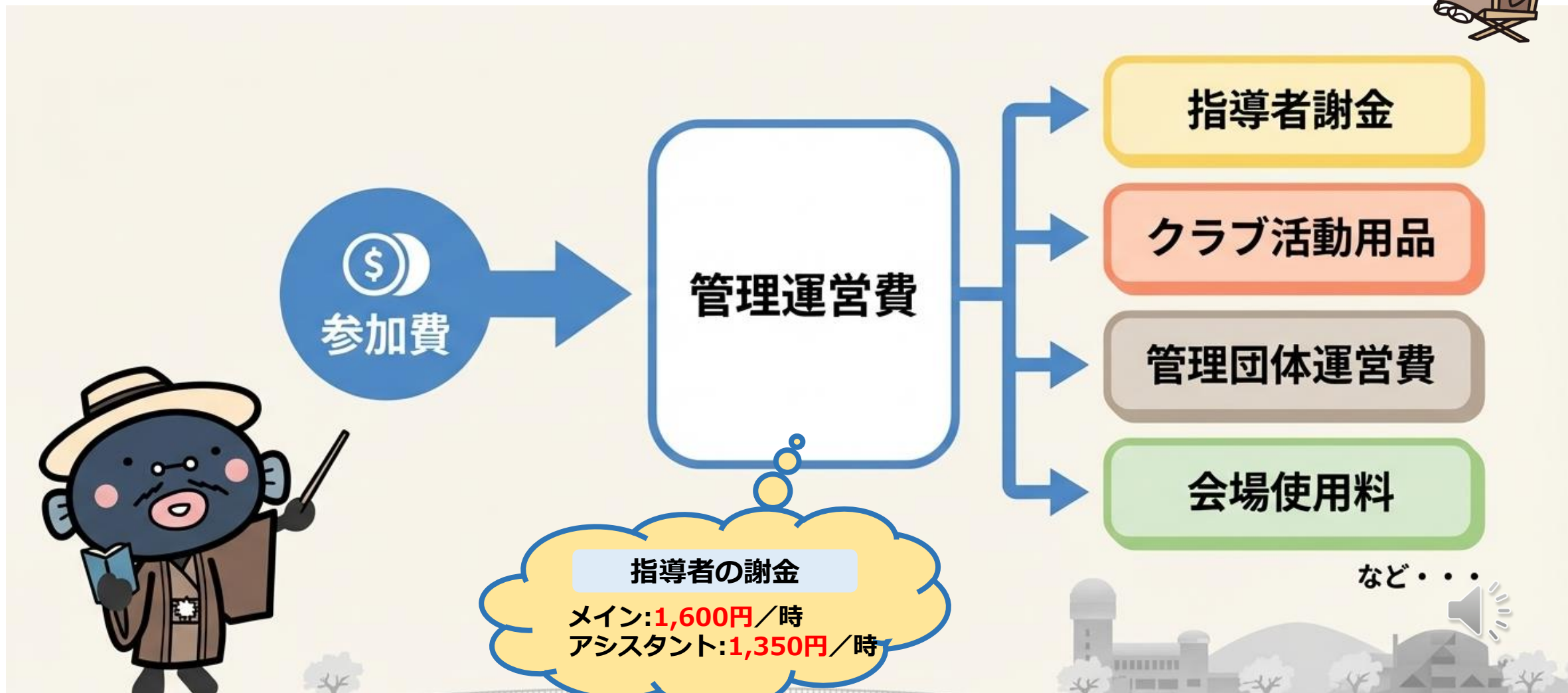
就学援助世帯への支援策

「就学援助制度の対象となる世帯」を対象として、原則、参加料を免除する予定です。





参加費の用途



連絡用アプリの導入



連絡 : 生徒・保護者への連絡



スケジュール : 練習日程の管理



勤怠 : 指導者の出欠管理

参加者は「連絡用アプリ」への登録が必要です。



4

指導者について



地域クラブ指導者



公募の指導者



関係団体からの推薦



競技・活動経験者



教員の兼職兼業
部活動指導員



指導者の配置基準



安全管理のため、最低2名の配置を基本とします。

指導者の要件とサポート体制

要件・研修



市が主催する指導者研修会への参加必須

地域クラブ活動に特化した市独自の研修会を開催します。

チーム指導体制（シフト制）



安全第一：最低2名の参加を原則とします



シフト制のような参加も可。登録する指導者の上限はありません。



5

大会、コンクール参加について





大会・コンクールへの参加形態

現在～令和9年度

将来

令和10年度目標

原則「学校部活動単位」
で出場

地域クラブ単位での
出場（協議中）

種目・活動によって異なる場合があります。個別の詳細は別添資料をご確認ください。

6

その他



「行政認定型クラブ」制度



認定要件

国のガイドライン準拠
適正な会計・指導体制



メリット

施設優先確保
市の広報協力

対象：行政主導型がない種目（例：演劇など）



Q&A①

Q 地域クラブへの参加は強制ですか？

A 強制ではありません。希望する生徒が自身の意思で入会して活動します。

Q ケガをした場合の補償はどうなりますか？

A 地域クラブ活動では、部活動で適用される日本スポーツ振興センターの保険が適用されないため、新たに保険に加入し、ケガ等へ備えます。

Q 休日の地域クラブには、学校の顧問の先生は来ないのですか？

A 学校の先生が指導を希望する場合は、兼職・兼業の手続きを経て「地域クラブの指導者」として参加します。そのため、必ずしも現在の顧問の先生が休日に指導するとは限りません。

Q 部活動に比べて参加費が高額に感じます。

A 地域クラブ活動は部活動と異なり指導者への謝金や地域クラブを統括する団体の運営費が発生します。必要な経費となります。

Q 休日に部活動として活動することは一切ありませんか？

A 原則ありません。大会やコンクールの前2週間程度は、必要に応じて「部活動」として練習時間を確保できるよう、ガイドラインの改定を含めて検討しています。

Q 部活動として単独でチームを組んでいるのになぜ複数学区を対象とした地域クラブになるのですか？

A 半年後や数年後に単独でチームを組めなくなる可能性が高いことから、確実に維持していける体制にする必要があるためです。また、現在の部活動数を基準とした場合、指導者の確保ができなくなる可能性があるためです。

Q 部活動と比べて指導方針や練習内容に差は出ますか？

A 平日の「部活動」と休日の「地域クラブ」は別の活動ですが、生徒が混乱しないよう、指導者同士が活動内容を共有する連携体制を整えます。地域クラブでは、より専門的な技術指導を受けられるメリットもあります。

Q 中学3年生が地域クラブに参加することは可能ですか？その場合、有料での参加となりますか？

A 可能です。参加する場合は、有料となります。

Q 夏休み中の地域クラブ活動はどうなりますか？

A 土・日曜日（祝日）のみの活動のとなります

Q 現在、部活動に入っていないなくても地域クラブに参加できますか？

A 参加できます。部活動とは異なる活動になるため全ての生徒が参加対象となります。大会に出場できない場合があります。

Q 部活動と異なる地域クラブの種目に参加することは可能ですか？

A 可能です。ただし、現時点では大会・コンクール参加を原則部活動単位としているため、出場できない場合があります。また、中学校体育連盟主催大会については、原則1種目のみしか参加できません。

Q なぜ大会・コンクール出場は部活動単位なのですか？

A 大会・コンクールについては、元々地域クラブとして出場することを前提としていないため、受け入れ態勢が整っていない種目があります。また、突然チーム構成が変化した状態で大会やコンクールに出場することは難しいため、周知期間も含め令和10年度を目途に地域クラブとして大会・コンクール参加することを目指します。



ご清聴ありがとうございました。

